

おもいやり

目次 contents

- P2
 - ・AI問診 運用開始
- P3
 - ・薬剤師外来始めました
 - ・糖尿病のつどい2019 in かが
- P4
 - ・6東病棟カラオケ大会
 - ・新任医師のご紹介
 - ・栄養室通信



2023年金沢～敦賀間の
新幹線開通に向けて、
当院最寄りの「加賀温泉駅」周辺の
工事が進んでいます。

6東病棟
10/23

カラオケ大会開催

残存機能の維持や向上、生活リズムの改善を図るため、定期的にレクリエーション大会が企画されています。



暦の上では立冬を迎えましたが、6東病棟では「カラオケ大会」で熱い盛り上がりを見せ、患者さん得意の歌だけではなく、ハーモニカ演奏なども披露されました。スタッフによるピアノ演奏などもあり、楽しいひと時を過ごすことができました。

新任医師のご紹介



小児科
どいちのぶゆき
土市 信之

専門・得意分野
●小児科一般
●小児内分沁

所属学会

日本小児科学会
日本小児内分沁学会
日本内分沁学会
日本糖尿病学会

資格等

日本小児科学会専門医
臨床研修指導医

3年半ぶりに当院に帰ってきました。新病院になってからは初めてですが、加賀の小児医療に貢献できるように努力させていただきます。

栄養室通信

だんだんと寒さが厳しくなるこの時期、しっかり野菜をとり元気に冬を乗り切りましょう。冬が旬の野菜は寒さに耐える強い力を持ち、栄養価も高くなっています。中でも今回は「ねぎ」について紹介します。

白ねぎ 代表的な品種 / 淡色野菜
下仁田ねぎ・加賀ねぎ・千住ねぎ

成分 白ねぎには、玉ねぎやにんにくにも含まれる独特のにおいの成分である「アリシン」が豊富に含まれています。包丁などで、ねぎの細胞が傷つけられることで発生する成分であり、ビタミンB1の吸収を助けることによる**疲労回復効果**や、強力な殺菌作用による**かぜ予防効果**があります。

効果的な食べ方 アリシンは、細胞を壊すことによって発生するため、**きざむ・潰す**などして食べると効果的です。ビタミンB1の吸収を助ける作用があるので、豚肉などの**ビタミンB1をたくさん含んだ食材と共に調理**することもおすすめです。

青ねぎ 代表的な品種 / 緑黄色野菜
九条ねぎ・ワケギ・万能ねぎ(青ねぎを若採りしたもの)

成分
・**βカロテン** / 強力な抗酸化作用を持ち、老化や動脈硬化、がんに関わるとされる**活性酸素を除去する作用**があります。体内でビタミンAへと変換され、目や喉の粘膜を守り**ウイルスの侵入を防ぐ**作用もあります。白ねぎのなんと136倍ものβカロテンが含まれています。

・**ビタミンC** / 皮膚や細胞でコラーゲンを作る際に必要な栄養素。βカロテン同様、抗酸化作用も持ち、**免疫力を高める効果**があります。白ねぎの2.8倍ものビタミンCが含まれています。



野菜の摂取量は「1日350g以上」が推奨されています。では、1日に350gの野菜をとるためには1食につき、どれだけの野菜が必要なのでしょう？

1食の目安 生野菜で両手に1杯、加熱した野菜で片手に1杯 (※それぞれ1杯約120gとなります)

野菜にはビタミンやミネラル、食物繊維が豊富に含まれています。しっかりと野菜をとり、健康的な体を作りましょう！

編集後記

前年度から含め、4回分の広報誌の作成に携わりましたが、次回から次の広報委員に引き継ぎます。任期中は、いつも以上に院内のイベントにアンテナを張って「何かないかな」と顔を出す日々でした。欲を言えば、もう少し画質のいいカメラが欲しかったなあ(小声)。今後の広報誌がより良いものになることを願いつつ、とりあえず筆を置きます。(T.D)

加賀市医療センター 広報委員会

〒922-8522 石川県加賀市作見町36番地
TEL 0761-72-1188(代) FAX 0761-76-5263(代)
E-mail kikakukeiei@city.kaga.lg.jp

令和元年12月00日発行



基本理念

「おもいやり」
私たちは、市民とともに、市民中心の医療を提供し、市民の健康を守ります



基本方針

1. 信頼される最適な医療を提供します
1. 救急搬送をこたわらない体制を目指します
1. 将来を担う優れた医療人を育成します
1. 地域に根付いた医療を実践します

AI問診 運用開始

AI問診 Ubie(ユビー)

当院は、2019年10月4日より救急科に「AI問診 Ubie」(Ubie株式会社)を試験導入しました。

従来の紙の問診票と、口頭での事前問診がタブレット入力に代わります。特徴としては、患者さんの主訴や回答に応じて、AI(人工知能)が問診事項を自動生成します。また、得られた問診結果は医師の専門語に翻訳して文章化され、PC上に出力されます。

全国100件以上の病院・クリニックで導入されており、外来の問診時間が約1/3に短縮されたという実績もあります。



救急受付で
タブレットを
お渡しします

問診フロー



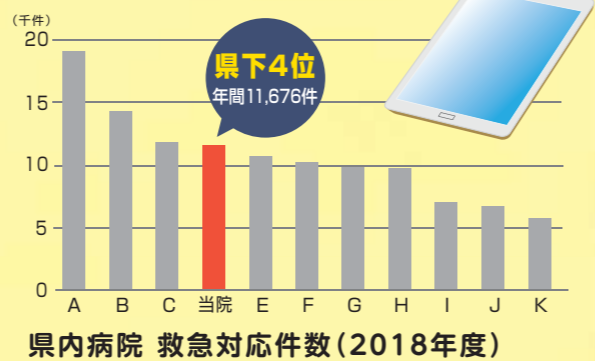
期待される効果

- 1 カルテ入力効率化で、患者さんの待ち時間を削減
- 2 看護業務への専念により、患者さんにより質の高いサービスを提供
- 3 医師の対面ヒアリング時間が増加

救急ワークイン患者さんの待ち時間削減へ

「救急搬送を断らない体制」を実践すべく、当院では救急医療の強化を図っており、救急対応件数は県内病院で近年上位に位置しています。多くの患者さんに対応する中で、看護師の事前問診およびカルテ作成業務の負担は大きく、患者さんの待ち時間の増大につながります。

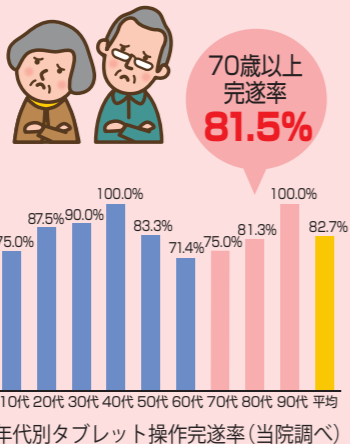
AI問診を導入することで、受付から診察開始までをよりスムーズに移行させます。また、「疑い病名」の提案機能により、医師の専門外の症状にもケメれない対応を目指します。



私らでもタブレット操作なんてできるんやろか?

AI問診タブレット操作に関する統計をとったところ、70歳以上の方でも81.5%の方が最後まで進めることができました。

操作などご不明点がございましたらお気軽にスタッフにお声掛けください。



スタッフの声

AI問診運用開始から約2カ月が経過しようとしています。操作手順や活用方法、慣れ不慣れなどの面で、まだ課題はありますが、通常看護師が行う診察前問診がタブレット入力に代わり、煩雑な看護業務の中にわずかな時間的余裕が生まれています。

AI問診活用が、診療の補助や看護ケア、手厚いケアの提供につながることを期待しています。(救急センター 山川看護師)



薬剤師外来始めました



ニンニクやしょうが、イチョウの葉エキスは血液をサラサラにします。

当院薬剤室では、今年の7月より薬剤師外来を始めました。診療科としてお医者さんのように診察はしませんが、検査や手術を予定している患者さんの飲んでる薬の内容を診察前に確認して、血液をサラサラにする薬を休薬する説明をしたり、あるいはかかりつけの薬局に連絡して、休薬する薬を抜いてもらうように依頼もします。薬のほかに日頃飲んでいる健康食品やサプリメントについてもお調べして、検査や手術に影響のあるものに関しては、飲むのをやめてもらっています。

他には抗がん剤やリウマチの薬など、服用方法がむずかしい薬や、副作用が多い薬についても服薬の説明を行っています。今まで同様、お薬相談もどしどし承っていますので、気軽にお立ち寄りください。

糖尿病のつどい2019 in かが



秋晴れの気持ちの良い日(11月10日)、第8回かが健幸長寿講座「糖尿病のつどい2019inかが」が開催されました。糖尿病週間行事の一環として毎年開催されており、参加を楽しみにしておられる市民の方もいる人気の行事です。

講演会は「糖尿病と歯周病について」と題し、ケイ歯科医院の金山先生が講演され、参加者からは歯周病と糖尿病の関係がよくわかった! 歯磨きの大切さを痛感した!などの声が寄せられました。

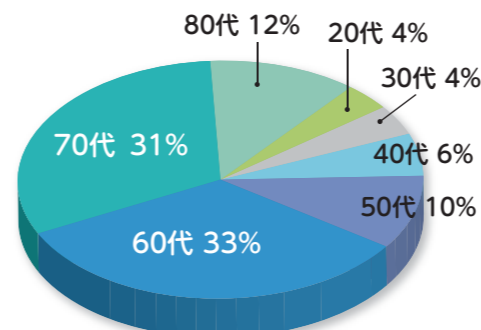
講演会後には測定や展示が各ブースで行なわれ、こんぺいとうの会主催のカフェでは体験談を熱心に聞き入る市民で賑わっていました。

私は筋肉量測定のブース担当でしたが、測定後にスタッフからの説明を熱心に聞かれる方がほとんどで、参加者の健康意識の高さがうかがわれました。

この行事は病院スタッフと市民の距離が近く、スタッフも参加される方々もとても良い笑顔です。毎回、終了後にはお手伝いできて良かった!と嬉しい気持ちになります。

来年はどんな会になるのか大変楽しみです!!

参加者年代



参加理由

